

暁鐘

ぎょう

しょう

第114号
R5.8.1 発行

大山公民館だより【673号】



日田市大山公民館
日田市大山町西大山 3600 番地
TEL: 0973-52-3255 FAX: 0973-52-3315
<http://www.hita-k.org/oyama/>
oyama-k@hita-net.jp



演奏をする音楽隊の皆さん。「コロナが明けて少しずつ県内で演奏する機会が戻ってきました。」と音楽隊長

特殊詐欺予防と交通ルールと音楽と

いきいき大学の公開講座として、大山公民館、前津江公民館共催による「大分県警察音楽隊演奏会」を7月26日、大山文化センターで開催し82名が参集しました。

当日は交通安全教育車「セイフティーぶんど」、歩行・自転車シュミレーター、パトカーと白バイの展示がありました。

夏休み中なので小学生の参加もあり、白バイの試乗をさせてもらうなど貴重な体験をして喜んでいました。

演奏会の前には日田警察署職員より「特殊詐欺に気をつけて」「交通ルールを守り安全に」の講話がありました。

演奏会では童謡メドレーや夏うたメドレー、昭和の歌謡曲など盛りだくさんの曲目演奏に、聴講者は手拍子やリズムにのりながら聞き入っていました。



大山っ子チャレンジ教室

「烏宿山自然林」植物調査



烏宿山自然林の植物調査を行う児童。そこには人の手が入っていない多様な植物たちが広がっていました。

令和5年度大山っ子チャレンジ教室は小学校5、6年生12名が登録してくれました。

第1講では5月27日に「烏宿山自然林」の植物を採集し、6月17日第2講では採集した植物を植物標本にしました。完成した標本数140点は講師の合谷勝彦さんと春末阿さんに教えていただきながら植物名を記入しました。

7月21日第3講では標本リストを科名と和名で分類し、烏宿自然林には「草よりも木が多い」「木が陰をつくるのでシダ植物が多い」「人工的に植えた木は1種類しかない」「外来植物がない」など特徴や気づいたことをまとめました。



女性セミナー

女性セミナー第1講「大人の心を癒す絵本セラピー」を6月14日に開催、参加した会員8名は、読み聞かせグループ「エホント」石松さんと野村さんを講師に迎え「絵本ワークショップ」を行いました。



7月12日第2講では「廃油せっけん作り」に挑戦。廃油が早く固まりすぎてちょっと見た目がいびつに・・・これも愛嬌！

みんなの料理

みんなの料理教室は本年度新規に3名が加入し現在会員12名です。

講師の穴井喜文さんにご指導いただき第1講「アックアパツ」ほか2品、第2講では「オニオングラタンスープ」他3品を調理しました。



「みな飯」 ～大山町に在住・お勤めのみなさんのマイレシピ展 開催中！

展示場所 大山公民館

展示期間 8月10日（木）まで

開館時間 午前8時30分～17時00分

主催 大山振興局（お問い合わせ先 大山振興局 総務振興係「みな飯」52-3101）



大山にまつわる歴史知ってますか？「田北塔のお話」(松原地区)

松原地区の入り口にある田北トンネル、その上に田北塔があります。ご存じでしょうか。これは「田北紹鉄(たきたしょうてつ)」という戦国武将のお墓です。田北紹鉄とはいったいどんな人物だったのでしょうか。話は戦国時代で今か450年ほど昔のことです。

大友宗麟の家臣に「田北紹鉄(たきたしょうてつ)」と「田原紹忍」いう二人がいました。この二人は、大友軍が薩摩の島津氏との戦いで大敗したことをきっかけに、仲が悪くなっていました。この時代は『取るか、取られるか』の時代。大友宗麟配下の「田原親貫」という武将が、君主である宗麟に対して反旗をひるがえしました。

宗麟は田北紹鉄と田原紹忍に、田原親貫の討伐を命じました。しかし田原紹忍は宗麟に『田北紹鉄は田原親貫の一味なのですよ』と告げ口をしました。

それを聞いた宗麟は激怒、『田北紹鉄を討つべし』と部下に命じました。田原紹忍は早速その命令に従いました。

しかし他の武将たちの中には、紹鉄に「時を待ってから、『君主(宗麟)への謀反の気持ちはない』」ということを宗麟に話すため、いつか、筑後地方に行ったらどうか」と助言する者もいました。

田北紹鉄もその思いで、自分の砦である「熊群山(くまむれやま)」(大分県由布市庄内町)を少人数で出て筑後地方を目指しました。

そのことを聞きつけた田原紹忍は、紹鉄の行く手を邪魔し、日田郡の老中に「田北紹鉄を発見次第、討伐すべし」と命じました。

天正八年(1580年)8月、紹鉄は日田郡に入りました。しかし原田平助、岡部内膳、財津氏、坂本氏、津江氏、五条氏など、大勢が待ち構えていて戦になりました。

その戦の場所が「竹の首(現在の天ヶ瀬町竹の首集落)」ということ聞いて、紹鉄は「わが運命はここに窮せり」と、「白兵戦(はくへいせん)」(※刀剣を使って戦う歩兵による接近戦闘のこと)を、率いる家臣たちに命じました。

夜半の合戦となり、紹鉄は「多勢に無勢で叶わない」と、この場所で切腹、その一門五十三人と郎従すべてそこで討死しました。

(大山町誌より)

伝説では「田北紹鉄が亡くなる時に持っていた金銀財宝と刀などを近くの川の淵に投げ捨てた。」

その淵は深く、いつまでも「きらきら」と輝いていたので「星が淵(ほしがぶち)」と言われるようになったとか。

それが現在の「松原集落」にある川の地名「星が淵」の由来だそうです。



「田北供養塔」看板を立て直した南部老人クラブ会員



田北トンネル(松原側)

「田北供養塔」の案内看板があります。この看板が柱根元から倒れ国道脇に倒れていたもので、6月末、南部老人クラブ会員が、柱をセメントで固めて看板を立て直し洗浄、看板がきれいによみがえりました。

夏恒例！大掃除をしました

7月22日に公民館運営委員さんと自主学習教室生41名で大山公民館と大山文化センターの大掃除を行いました。

当日は朝8時から1時間足らずで周辺の草刈り、窓ふきが終わりすっかり綺麗になりました。



いつもありがとう 中学生ボランティア清掃



毎年大山公民館のボランティア清掃を行ってくれる大山中学校生徒のみなさん。6月14日に大山公民館・文化センターの窓拭きをしてくださいました。いつもありがとうございます。

西峰出張講座

西峰地区の高齢者を対象とした出張講座を西峰コミュニティーセンターでおこない8名が参加、宮田寿望さんより「リンパマッサージ」をご指導いただきました。

当日は気温がかなり高かったので「熱中症対策」も教えていただきました。



大山公民館自主学習教室のご紹介 大山さをり教室

大山さをり教室は平成23年に発足した「機織り」教室。現在は会員10名で毎月第2・第4土曜日午前10時から午後3時まで活動しています。

講師の平田研二さんは福岡県からお起しになっています。

機織りを楽しみながら自分のオリジナル作品を作り、公民館まつりでは作品展示で成果発表をしています。



「涼やかな羽織作品素敵でしょ？」



館長の一日

五月より大山住民自治組織「すみい会」が発足しました。行政と住民の中間的役割を担う組織ということですが、「暮らしの部会」「見守りの部会」「学びの部会」と三の部会が設けられています。それぞれの部会が「やっぱり大山に住んでいてよかったね」といえる地域づくりを目指していこうとしています。

私たちの町大山は「学問の願い」「労働の願い」「愛の願い」の三つの願いを「みんなの願い」ということで町内から寄付を募り旧大山役場前にシンボルタワーを設置していました。町の行事だった「駅伝大会」や「体育の日」にはみんなの協力でたくさんの方が参加していました。本日に隣近所「励まし、助け合い、慰めあい」和気あいあいと行事に参加していました。九月に行われる「敬老の日」では地域の区長さんや農事主事さん、婦人会の皆さんが集まり手作りの料理で地区の公民館に高齢者を招待しカラオケや寸劇を披露して一日を楽しんでもらっていました。その当時は多くの方が地域活動に参加して同じ方向を目指していた気がします。

今回住民自治組織も「すみい会」と呼称も決まりました。平成の市町村合併前とは環境や状況は確実に変わり、人口減少、少子高齢化は皆さんも実感していると思います。そんな中で「住んでいて安心で安全、そして楽しいね」とみんなが言えるようなこれからの大山町をみんなで考えていきます。すみい会の事務局に三名の方が頑張っています。これからの行事や活動にみんなが協力・支援をしていきましょう。

(黒川)